

令和8年9月28日

芦子小学校保護者様

小田原市立芦子小学校
校長 石井 美佐子

防災備蓄品（飲料・食料）の学校保管について

清秋の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、災害等で児童を学校で待機させる際の飲料と食料を防災備蓄品として学校に保管することとしました。急なお願いとなりますが、災害時等のお子さんの健康保持のため、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

また、防災備蓄品（飲料・食料）の学校保管については、10月6日（火）に開催する学年・学級懇談会でも説明をさせていただきます。このお知らせを持参して懇談会へご参加くださるよう、よろしくお願いいたします。

1 防災備蓄品を保管する目的

災害時等にお子さんを学校で待機させる際の飲料と食料を確保し、健康を保持することが目的です。

2 学校に保管する防災備蓄品

児童ごとに飲料と食料を学校に保管します。

※ 飲料と食料の詳細は、2～3ページをご覧ください。

※ 飲料と食料は保管バッグに入れ、名札ケースを取り付けて保管します。保管バッグと名札ケースは学校で一括購入しました。10月6日（火）の懇談会で保護者の皆様に説明後、翌7日（水）に児童を通して配付します。保管バッグと名札ケースの代金は教材費として徴収させていただきます。

3 防災備蓄品を保管する場所

直射日光が当たらず、出入り口に鍵をかけられる場所で保管します。

4 防災備蓄品の保管期間と入替期間

学校に防災備蓄品を保管する保管期間と消費期限・賞味期限を確認する入替期間の2つの期間を設けて、消費期限・賞味期限内の飲料・食料が学校に保管されるようにします。

※ 防災備蓄品の保管期間と入替期間の詳細は、3ページをご覧ください。

5 今年度の防災備蓄品の保管期間と入替期間

<保管期間>

令和8年11月12日（木）から令和9年3月25日（木）まで

※ 6年生の保管期間は令和9年3月18日（木）まで

※ 令和8年11月12日（木）～14日（土）を防災備蓄品持参期間とします。この期間に、お子さんもしくは保護者が防災備蓄品を学校に持参します。

<入替期間>

令和9年3月26日（金）から令和9年4月の持参日の前日まで

※ 令和8年度の保管期間最終日に、お子さんもしくは保護者が防災備蓄品を自宅に持ち帰ります。

※ 令和9年4月の持参日については、改めてお知らせいたします。

問合せ先
防災計画担当・教頭
電話：0465-34-8244

防災備蓄品に関するお知らせ

小田原市立芦子小学校

1 防災備蓄品として準備していただく飲料と食料について

防災備蓄品(以下:備蓄品)には、必ず準備していただきたいものとお子さんに合わせて準備していただいてもよいものがあります。また、備蓄品の飲料・食料を準備する上でお願いしたいことがあります。

【備蓄品として必ず準備していただきたいもの】

□ 飲料水1L(ペットボトルもしくは缶ボトルに入ったもの)の準備をお願いします。ペットボトルもしくは缶ボトル(以下:ボトル)に入ったものであれば1Lのボトル1本、500mLのボトル2本など、組み合わせは問いません。

□ 主食となる食料1食分

【お子さんに合わせて準備していただいてもよいもの】

＜参考例＞のように、お子さんに合わせて、主菜や副菜となる食料、飲料水以外の飲料、お菓子などを＜保管バッグ＞に入れていただいても構いません。また【備蓄品として必ず準備していただきたいもの】では、飲料水1L、主食となる食料1食分としていますが、飲料水1L以上、主食となる食料1食分以上を＜保管バッグ＞に入れていただいても構いません。ただし、＜保管バッグ＞のファスナーが閉じる量でお願いします。

＜参考例＞

◎は【備蓄品として必ず準備していただきたいもの】の例 ○は【お子さんに合わせて準備していただいてもよいもの】の例

◎飲料水 1.5L(600mLのボトル1本、500mLのボトル2本)

◎梅がゆ(主食となる食料 97kcal)

○やきとりの缶詰(主菜となる食料 112kcal)

○缶入りスープ(副菜となる食料 39.1kcal)

○ゼリー飲料(飲料水以外の飲料 105kcal)

○スポーツドリンク(飲料水以外の飲料 125kcal)

○ビスケット(お菓子 1袋4枚×4袋 4枚当たり 107kcal)



＜保管バッグ＞と＜名札ケース＞



1人あたりの保管容量の上限をそろえるため＜保管バッグ＞(幅30cm・高さ28cm・マチ10cm 税込330円)を購入させていただきました。左の写真は＜参考例＞でお示した飲料・食料を＜保管バッグ＞に入れてファスナーを閉じた状態です。＜参考例＞の飲料・食料と＜保管バッグ＞の重さの合計は約2.6kgです。

＜保管バッグ＞に入れた飲料・食料は、自宅から学校に持参し、学校から自宅に持ち帰ります。重くなりすぎると持ち運びが大変になりますので、お子さんに合った量を持たせてくださいますようお願いいたします。

また、保管する際に＜保管バッグ＞の所有児童をはっきりと識別するため＜名札ケース＞(税込110円)も購入させていただきました。それぞれの代金は、後期教材費として徴収させていただきます。

【備蓄品を準備する上でお願いしたいこと】

□ 常温で保管できるもの。

□ ※¹加熱※²加水などの調理がいないもの。

※1 加熱して食べる包装米飯(パックごはん)などの食料は避けていただき、「温めずに、そのままでもお召し上がりいただけます。」といった表記がある食料を準備していただきますようお願いいたします。

※2 アルファ化米など、常温の水を注いで食べられる状態にする食料を準備していただいても構いませんが、お子さん自身が持参した飲料水を注いで調理すること、食べられる状態になるまで 60 分程度かかることを、お子さんと確認してから準備してください。

□ 缶切りなどの特別な器具を使わずに開封できるもの。

□ 消費期限・賞味期限が※保管期間最終日(今回は令和9年3月25日)以降となっているもの。

※ <参考例> で紹介した飲料・食料は、令和8年7月上旬に購入したのですが、消費期限・賞味期限が令和9年3月25日以降となっているものです。

※ 保管期間の詳細は、後で詳しくお知らせします。

<参考例> で紹介した飲料・食料は、ここでお願いする4つのことをすべて満たしている飲料・食料です。備蓄品を購入する際の参考にしてください。

2 保管期間と入替期間について

学校に備蓄品を保管する保管期間と自宅に持ち帰り消費期限・賞味期限を確認する入替期間の2つの期間を設けます。

【保管期間】

学校に備蓄品を保管しておく期間です。備蓄品を学校に持参してから、入替期間の前日までが保管期間となります。

【入替期間】

自宅で備蓄品を入れ替える期間です。この期間に、消費期限・賞味期限が次の保管期間の最終日以降となっている備蓄品に入れ替えてください。この入れ替えをするために、保管期間最終日に備蓄品を自宅に持ち帰ります。

【令和8年度の保管期間と入替期間】

今年度は初回ということもあり、準備する期間が長く必要かと思います。そのため、令和8年11月11日(水)までを備蓄品準備期間とし、11月12日(木)から令和9年3月25日(木)までを保管期間とします。6年生の保管期間は令和9年3月18日(木)までとします。備蓄品を持参する期間は、令和8年11月12日(木)から14日(土)までとします。

また、1～5年生は令和9年3月25日(木)、6年生は令和9年3月18日(木)に備蓄品を自宅に持ち帰ります。持ち帰った日以降から次に持参する日の前日までが入替期間となります。

令和9年度の保管期間と入替期間については、今年度末にお知らせいたします。

3 備蓄品を食べる際の箸^{はし}・スプーン・フォークなどについて

食事に必要な、箸・スプーン・フォークなども、ご家庭でご準備いただき、保管バッグの中に入れてください。

4 備蓄品チェック表

備蓄品を準備されたら、次の表の確認項目①～⑩を確認していただければと思います。確認したらチェック(☑)をお願いします。

＜備蓄品最終チェック＞

確認項目	チェック
① ボトルの水は、1L 以上あります。	☐
② 主食となる食料があります。	☐
③ 準備した備蓄品は、すべて常温で保管できる飲料・食料です。	☐
④ 準備した備蓄品は、すべて加熱・加水などの調理をせずに飲食できます。	☐
⑤ 準備した備蓄品は、すべて缶切りなどの特別な器具を使わずに開封できます。	☐
⑥ 準備した備蓄品の消費期限・賞味期限は、すべて令和9(2027)年3月 25 日以降です。	☐
⑦ 備蓄品を食べる際に必要な、箸・スプーン・フォークなどが保管バッグに入っています。	☐
⑧ 保管バッグに備蓄品と箸などを入れた後、ファスナーを閉めることができます。	☐
⑨ 備蓄品の重さは、学校まで持って行き、学校から持って帰って来られる重さです。	☐
⑩ 名前を書いた名札が保管バッグに取り付けられています。	☐

5 最後に

初回のため、学校からのお願いばかりですが、児童・保護者の皆様の意見を聞きながら、持参する飲料・食料の種類や量、備蓄品の保管期間の長さなどを毎年見直していきたいと考えています。学校評価アンケートなどで、ご意見をお聞かせいただければと思います。

また、お子さん1人あたり1つの備蓄品を準備していただくため、このお知らせは家庭数ではなく、児童数で配付させていただきます。

新たな取組となりますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。